

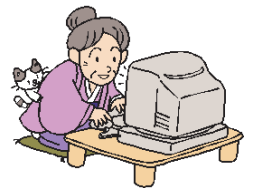
# いわき市地域情報化(後期)行動計画



本市においては、平成14年5月に、IT革命への的確な対応と活力に満ちた地域社会の実現をめざし、「いわき市地域情報化基本計画」を策定しました。

この基本計画は、さまざまな分野における諸施策を情報化の視点から総合的・体系的に整理し、これからの情報化施策についての方向性を示しています。

そこで、この基本計画を着実に推進するため、その取り組み内容とスケジュールを定める「地域情報化後期行動計画」を策定いたしました。



## 計画期間

地域情報化基本計画の後期期間にあたる、平成18年度から平成22年度(2010年度)までの5年間とします。

## 事業の選定方針について

毎年度、  
点検・評価

基本計画後期マスタースケジュールに基づき、『前期に整備した推進体制や情報通信基盤などを最大限に活用し、民間主導によるさまざまな分野での情報化の発展・展開をめざす』事業を選定することとします。

なお、今後、検討を進めていくうえで新たに追加する事業などが生じる可能性があります。ことから、毎年度点検と評価を行いながら、適切な進行管理を図ります。

## 重点目標 — いわき市全体の情報コミュニケーションの活性化 —

前期に整備を行った電子窓口などの電子市役所整備基盤や、地域情報化推進体制などの地域情報化の整備基盤などの人的・物的基盤を基に、さらに情報コミュニケーションを活用するための仕組みづくりを行い、市民、企業、行政などの相互交流による『いわき市全体の情報コミュニケーションの活性化』を図ります。



**i** コミュニケーションの創造

【いわき】iwaki

【情報】information

【相互交流】intercommunication

## 項目別行動計画

「いわき市地域情報化基本計画」におけるマスタースケジュールの「後期に取り組む主な事業」で掲げている項目別に、平成21・22年度に新たに実施する事業及び計画を変更する事業について示します。



### 1 地域情報化推進事業

後期マスタースケジュール	事業名	位置づけ年度	改訂内容	
			H21※	H22
(1) 民間主導の地域情報化の展開	情報通信格差是正事業 (ブロードバンド整備)	H18～	見直し	
	情報通信格差是正事業 (携帯電話不通話エリア解消)	H18～	見直し	
	情報通信格差是正事業 (地上デジタルテレビ難視聴解消)	H18～		見直し
	Web GIS (公開型地理情報システム) 導入事業	H21～	新規	
	映像配信を活用したユビキタスタウン 構築事業	H21～	新規	
(2) さまざまな分野における 多様なサービスの提供	地域防災無線更新事業	H20～	見直し	
	消防緊急情報システム整備事業	H18～	見直し	
(3) 小中学校のIT教育環境 の充実	ライブカメラを活用したユビキタスタウン 構築事業	H21～	新規	
	小・中学校教職員情報化推進事業	H19～	見直し	
	小・中学校の情報基盤の整備	H14～	見直し	
(4) 産学官の連携、産業の振興 ・促進			変更なし	変更なし
(5) 高度な電子行政サービスの 展開	eLTAX (地方税ポータルシステム) に 係る国税連携対応及び電子申告の導入	H22～		新規

※ (改訂内容) の「平成21年度新規・見直し」については、経済危機対策等により平成21年度に新たに実施する事業、または、計画を変更する事業です。

### 2 電子市役所推進事業

後期マスタースケジュール	事業名	位置づけ年度	改訂内容	
			H21	H22
(1) 統合的な庁内システムの整備 による合理化の推進	個人情報ネットワーク改善事業	H22～		新規
(2) 知識・知恵の集積による高度 な電子市役所の推進	例規データベースシステム	H14～		見直し
(3) 行政情報の更なる電子化による 業務の効率化と市民サービスの 向上	公共施設予約案内システム	H15～		見直し
	資産税賦課システム	H14～		見直し
	電子レセプト処理システム構築事業	H22～		新規

